

超撥水・ラジカル制御形弱溶剤 NAD 特殊変性シリコン樹脂塗料

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

# 1液ワイドビーズコートSi

# 1液ワイドビーズコートBIO

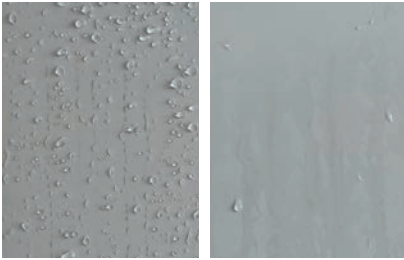
- 超撥水
- 高耐候
- つや消し
- 可とう性
- 低汚染
- 透湿性
- ヤニ止め
- 防かび 防藻

1液ワイドビーズコートSiは、弊社独自の撥水性技術を駆使した業界初となる弱溶剤系塗料です。

つや消し塗料でありながら塗膜は微弾性を有し、卓越した耐久性を備え長期間優雅な美しい外観を保つことができます。

更に、1液ワイドビーズコートBIOは、超撥水効果に加え、防かび剤・防藻剤を配合した強力防かび防藻タイプです。

## 超撥水性能



1液ワイドビーズコートSi 弱溶剤汎用つや消し塗料

ビーズコートシリーズと同様にハスの葉構造の原理を応用し、表面に微細な凹凸を施した1液ワイドビーズコートSiは、泥汚れや雨筋、水濡れによるかびや藻の繁殖を抑制し、塗膜の美観を長期にわたって保ちます。

## 完全つや消し設計

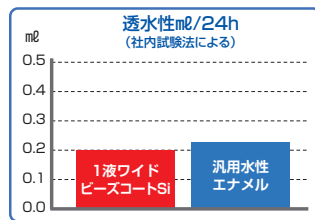
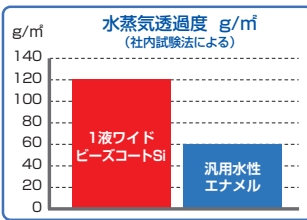
1液ワイドビーズコートSiは、つや消し専用の塗料設計となっているため、つや有り塗料からつや調整剤の添加により、つやを消した塗料に比べて、タッチアップなどによるムラを生じにくく、塗膜性能の低下もありません。

## 環境・健康への配慮

ホルムアルデヒド放散等級は最高等級のF☆☆☆☆を取得。その他にも重金属(鉛・クロム)を原料に使用していません。強溶剤の様な刺激臭がなく、塗装環境の改善がはかれます。

## 塗膜の透湿機能で結露を抑制

塗膜中に形成されたナノサイズの細孔を通して建物内部の水蒸気を外部に発散し、建物の結露抑制に寄与します。また、雨水は塗膜内部に浸透しにくく、つやあり水性塗料と同程度の防水性を有します。



※下塗りは、ワイドシーラーEPOを使用。

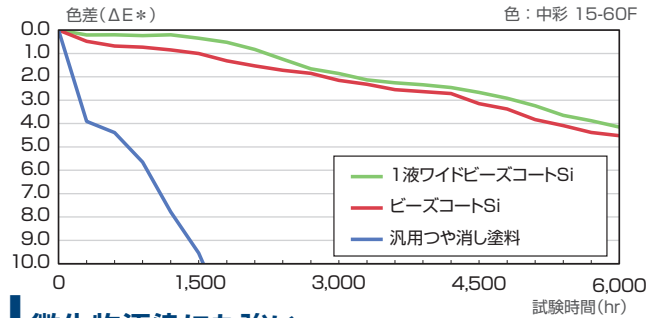
## 改修にも最適

つや消し塗料でありながら、塗膜は可とう性を有するため、可とう形改修仕上塗材の上塗りに適応します。

## 高耐候性(ラジカルプロテクト)

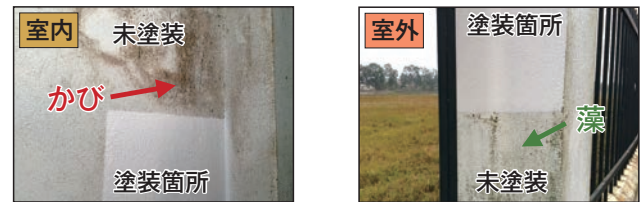
1液ワイドビーズコートSiは、弊社独自の撥水性技術と空気中の酸素により緻密で強靱な塗膜を形成し(酸化重合)、ラジカルの発生要因である水の侵入を抑制します。また、活性制御酸化チタンの効果によりラジカルの発生を抑制し、たとえラジカルが発生したとしても高性能光安定剤(HALS)がラジカルを捕捉します。1液ワイドビーズコートSiは、ラジカルプロテクト技術により、従来のつや消し塗料にはない卓越した耐久性を発揮します。

## 促進耐候性試験での色差(キセノンランプ法)



## 微生物汚染にも強い

塗膜表面が濡れにくいため、かび・藻などの発生を抑制し、微生物汚染から建物を守ります。



※1液ワイドビーズコートBIOは、更に強力な防かび・防藻性を有しています。

## 塗装上の注意事項

- 素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 素地の巣穴、クラック、不陸、目違ひなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンカチオンSCフィラーなどで平滑にしてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 強風時や降雨、降雪のおそれがある場合は塗装を避けてください。
- 塗替時は、事前に既存塗膜を塗料用シンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
- 塗料用シンナーで溶解やリフティングを生じるような既存塗膜に塗装すると、ふくれ等が発生することがあります。
- 吹付塗装の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。うすめすぎは、たるみ・隠へい不足・つや不良などの原因になりますので注意してください。
- たれ、塗り残しなどがないように均一に塗装してください。
- 塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。塗付量が少ないと十分な塗膜性能が得られませんので、所定の塗付量を塗装してください。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。また山間部などで、夜露が早く降りる地域では、塗装を速めに終え、乾燥時間を確保してください。
- 上塗り1回目塗装後、2回目の色相を変えて塗装しますと、ブリードによる変色を生じることがありますのでご注意ください。

- 次のような下地面の場合、付着不良や2回塗り時にチヂミを生じることがありますので、塗装は避けてください。
  - ・清掃が不十分で汚れが付着している下地
  - ・塗料用シンナーの拭き取りで取れる既存塗膜
  - ・完全硬化した2液形塗料の既存塗膜など
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリングの場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- シャッター・歩行部位への使用は避けてください。
- ドアパッキン、ゴム、プラスチックなど可塑性を含むものに本品塗膜が接触すると、粘着の発生や剥離を起こす場合がありますので、接触が予測される箇所へは塗装を避けてください。
- ベンチ・ジャングルジムなどが乗るもの、またテーブル、カウンター、棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
- 開缶した状態で長時間放置しますと、空気と反応し、増粘・皮張りを起こす恐れがあります。使用後の塗料は密閉する、また、塗料が残り少ない場合には小さい容器に移すなどして冷暗所に保管してください。
- 塗装用具の洗浄には、スズカシンナー #1000または#2000をご使用ください。
- 本仕様書に記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

## 塗り替え仕様

### ●外壁(コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボード)

[既存塗膜: リシン、吹付タイル、単層弾性※、弾性タイル※、EP、AEPなど]

#### ① 既存塗膜のテクスチャーを活かす場合

(活膜の既存塗膜を対象にしています。)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●チョーキング、汚れ、じんあい、劣化塗膜など高圧水洗で除去する。 ●水洗い面を十分に乾燥させる。					
2 上塗り	1液ワイドビーズコートSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.20	2	[工程間] 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り

使用可能上塗り: 1液ワイドビーズコートSi、1液ワイドビーズコートBIO

※下塗りには、WBリメーク弾性フィラー RE、WBリメーク弾性フィラー EPOを使用してください。

注1) 吸込みが著しいなどで下塗りがされる場合には、ワイドシーラー EPO、ワイド浸透シーラーシリーズなどをご使用ください。  
注2) 特殊コーティング(ふっ素・光触媒等)窯業系サイディングボードに塗装する場合は、下塗りにWBグリップシーラー EPOを使用してください。

劣化の進行していない艶あり塗膜の場合は、予め試験塗りを行い、付着性を確認してください。

注3) 1液ワイドビーズコートSi・BIOをスプレー塗装する場合、塗料用シンナーで30~50%希釈してください。

#### ② 既存塗膜のテクスチャーを変える場合

工程	塗材	調合(重量比)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法
1 下地調整	●既存塗膜の浮き、ふくれ、ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ●チョーキング、汚れ、じんあい、劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ●水洗い面を十分に乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。					
2 下塗り	リメークプラ 清水	100 1~3	0.80~1.20	1	8時間以上	パターンローラー塗り
3 上塗り	1液ワイドビーズコートSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.20	2	[工程間] 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗り: リメークプラ、リメークプラRE、WBリメーク弾性フィラー EPO、WBリメーク弾性フィラー RE

使用可能上塗り: 1液ワイドビーズコートSi、1液ワイドビーズコートBIO

注1) 1液ワイドビーズコートSi・BIOをスプレー塗装する場合、塗料用シンナーで30~50%希釈してください。

### ●金属部(鉄部、金属サイディング)

[既存塗膜: SOP、フタル酸樹脂、塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂塗料など]

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布、皮スキなどの手動工具を用いて、さび、劣化塗膜などを除去する。 ●油脂類は溶剤拭きで除去する。					
2 下塗り	1液ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0~5	0.12~0.18	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
3 上塗り	1液ワイドビーズコートSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.10~0.15	2	[工程間] 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗り: 1液ワイドさびストップ、ワイドさびストップ、エポマイルド、ワイドラノンEPO、エポプラ、さびストップなど

使用可能上塗り: 1液ワイドビーズコートSi、1液ワイドビーズコートBIO

注1) 塗る面(面)にさびが発生していない場合には、下塗りを省略することができます。

注2) 特殊コーティング(ふっ素・光触媒等)や難接着タイプの金属サイディングに塗装する場合、予めワイドさびストップや1液ワイドさびストップなどで試験塗装を行い、密着性を確認してから本塗装を行ってください。

注3) 1液ワイドビーズコートSi・BIOをスプレー塗装する場合、塗料用シンナーで30~50%希釈してください。

### ●木部

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●オービタルサンダー(研磨紙P180~240)などを用い、かんな目、逆目、毛羽を除去し平滑にする。 ●汚れ、じんあいは拭き取り、ヤニ・油脂類は溶剤拭きで除去する。 ●既存塗膜の劣化部分は、スクレーパー、研磨等を用いて除去する。					
2 下塗り	1液ワイドウレタン木部下塗り	100 (無希釈)	0.12~0.16	1	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
3 上塗り	1液ワイドビーズコートSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.10~0.15	2	[工程間] 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗り: 1液ワイドウレタン木部下塗り、セガード(室内のみ)、カチオンホワイトシーラー EPOなど

使用可能上塗り: 1液ワイドビーズコートSi、1液ワイドビーズコートBIO

### ●樋(硬質塩ビ)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●サンドペーパーを用いて目荒らしをする。 ●汚れ、付着物・油脂類を溶剤拭きで除去する。					
2 上塗り	1液ワイドビーズコートSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.10~0.15	2	[工程間] 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り

使用可能上塗り: 1液ワイドビーズコートSi、1液ワイドビーズコートBIO

## 商品体系

商品名	色相	容量	備考
1液ワイドビーズコートSi	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色 黄色・紺	15kg	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
1液ワイドビーズコートBIO	調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)	4kg	第三種有機溶剤等

## 新設仕様

### ●外壁(コンクリート、モルタルなど)

#### 平滑仕上げ

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●素地のレイタンス、エフロレッセンス、汚れは除去し、巣穴・不陸、目違いなどは予めラフトンカチオンSCファイラーなどの建築用下地調整塗材で平滑にする。					
2 下塗り	ワイドシーラー EPO	100 (無希釈)	0.10~0.17	1	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
3 上塗り	1液ワイドビーズコートSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.10~0.15	2	[工程間] 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗り: ワイドシーラー EPO、WBグリップシーラー EPO、ワイド浸透シーラーシリーズ、リメークシーラー EPO、WBリメークシーラー EPO、サンプラシリーズ、AEPクリーンシーラーシリーズ、カチオンシーラー EPOシリーズなど

使用可能上塗り: 1液ワイドビーズコートSi、1液ワイドビーズコートBIO

注1) 1液ワイドビーズコートSi・BIOをスプレー塗装する場合、塗料用シンナーで30~50%希釈してください。

#### 凹凸模様仕上げ

工程	塗材	調合(重量比)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法
1 下地調整	●素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●素地のレイタンス、エフロレッセンス、汚れは除去し、巣穴・不陸、目違いなどは予めラフトンカチオンSCファイラーなどの建築用下地調整塗材で平滑にする。					
2 下塗り	ワイドシーラー EPO	100 (無希釈)	0.10~0.17	1	8時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
3 主材塗り	ラフトンジャンボ 清水	100 0~2	1.40~1.60	2	16時間以上 (凸部処理) 1時間以内	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
4 上塗り	1液ワイドビーズコートSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.20	2	[工程間] 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗り: ワイドシーラー EPO、WBグリップシーラー EPO、ワイド浸透シーラーシリーズ、リメークシーラー EPO、WBリメークシーラー EPO、サンプラシリーズ、AEPクリーンシーラーシリーズ、カチオンシーラー EPOシリーズなど

使用可能主材: ラフトンジャンボ、ラフトンジャンボSi、ラフトンジャンボRE、ラフトンローラー、ラフトンローラー Si、ラフトンローラー RE

使用可能上塗り: 1液ワイドビーズコートSi、1液ワイドビーズコートBIO

注1) 1液ワイドビーズコートSi・BIOをスプレー塗装する場合、塗料用シンナーで30~50%希釈してください。

### ●金属部

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布、皮スキなどの手動工具を用いて、さび、黒皮、油脂類、付着物などを除去する。					
2 下塗り	1液ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0~5	0.12~0.18	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
3 上塗り	1液ワイドビーズコートSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.10~0.15	2	[工程間] 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗り: 1液ワイドさびストップ、ワイドさびストップ、エポマイルド、ワイドラノンEPO、エポプラ、さびストップなど

使用可能上塗り: 1液ワイドビーズコートSi、1液ワイドビーズコートBIO

注1) 1液ワイドビーズコートSi・BIOをスプレー塗装する場合、塗料用シンナーで30~50%希釈してください。

## 取扱い上の注意事項

- 引火性の液体ですので、火気のあるところで使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- 取扱い作業所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 臭いは、食品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分に注意してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分にしてください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。  
特に下記場所の保管は避けてください。  
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。

注) ① 建物の構造、塗装部位(雨のかりが少い面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

② 各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 ☎ 510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4

☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191

研究開発本部 ☎ 510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎ 0133-60-6311

東京支店 ☎ 03-5661-2211

名古屋支店 ☎ 052-411-1255

大阪支店 ☎ 072-862-1601

広島支店 ☎ 082-277-1116

四国支店 ☎ 0877-24-4621

九州支店 ☎ 092-938-0071

取扱店

URL <https://www.suzukafine.co.jp/>



●このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。  
●このカタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。